

# 1 がん医療(緩和ケア)

## 個別施策アウトプット

	県の指標	国の評価指標
①患者・家族満足度調査の実施		
②県立医科大学附属病院内の緩和ケアセンターの機能の充実を図り、県全体の緩和ケアを推進する中核拠点病院としての体制整備を図る		
③新県立奈良病院において、緩和ケア病棟の整備を進めるとともに、北和地域を中心とした、緩和ケアの普及のための拠点として機能の充実を図る		
④南和地域の救急病院において、緩和医療を行うことを目指す		
⑤拠点病院緩和における専門性の高い緩和ケアの提供体制の整備等及び相談支援体制の整備	緩和ケアチームによる新規診療症例数	・専門・認定看護師の専門分野への配置(D5)
⑥緩和ケア研修の実施、奈良県立大学における緩和ケアの卒前教育の充実	緩和ケア研修修了者数	
⑦在宅緩和ケア研修	在宅緩和ケア受講者数	
⑧切れ目ない連携体制の検討		・地域多職種カンファレンスの開催状況(D9)
⑨県内薬局における医療用麻薬の提供体制について検討	医療用麻薬の消費量	
⑩がん患者に患者必携の普及及び緩和ケアに関する情報提供	・県ホームページアクセス数 ・緩和ケアについての認知度	・一般市民の緩和ケアの認知(D7) ・一般市民の医療用麻薬に対する認知(D8)

## 中間アウトカム

	県の指標	国の評価指標
長期目標を達成するため、体制の整備が進み、がんと診断されたときからの緩和ケアの実施が可能である。		
(1)緩和ケア研修体制が見直されている。		
(2)医療従事者が知識と技術を獲得している。	緩和ケア研修修了者数 在宅緩和ケア受講者数	
(3)緩和ケア診療体制が整備されている。	・緩和ケア外来の受診患者数 ・がん患者の在宅死亡割合	
(4)専門的な緩和ケア提供体制の整備と質の向上ができています。	<指標案> ①緩和ケアは、がんと診断されたときから受ける者だと知っている人の割合	
(5)緩和ケアについて、認知されている。	・緩和ケアの認知度 <指標案> ①緩和ケアについて知っている人の割合 ②緩和ケアについての情報が不十分でないと答えた人の割合	

## 分野別最終アウトカム

	県の指標	国の評価指標
全てのがん患者が居住する地域にかかわらず、必要ときに質の担保された切れ目のない緩和ケアが受けられ、苦痛が緩和されている。	<b>患者やその家族の満足度(3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定)</b> <指標案> ①痛みなど身体の状態を和らげる対応に満足した人の増加 ②精神的なケアに満足している人の割合 ③緩和ケアは希望に応じて、すぐに提供されたと答えた人の割合 ④症状は改善したと答えた人の割合	診療体験調査等
身体的苦痛が緩和されている。		からだのつらさ、疼痛(D10、D11、Z2)
精神的苦痛が緩和されている。		気持ちのつらさ(D12、Z3、15)
社会的苦痛が緩和されている。		経済的な負担のために、治療を変更・断念したことがありますか。(Z14)